

米の安定供給と 食糧支援制度の改善を求める意見書

世界的な食糧の需要ひっ迫と円安などにより食料品の値上げが相次ぐ中、米不足と米価の値上がりが生活苦に追い打ちをかけている。令和の米騒動は、日本の食と農の危機の一端を顕在化させた。農業従事者の減少が加速し、農業と農村は疲弊している。これは、食を外国に依存し、農業を軽んじてきた政治の結果である。

この現状を根本的に転換し、「農業の再生」「食の安定供給」に踏み出すことが今の重要課題である。特に、主食の米が不足することのないように対策を行い、消費者は「安心して食べ続けられる」、生産者は「安心して作り続けられる」政策の実現が求められる。

そのため、食料自給率向上を最大の目標に据え、多くの国で行われている価格保障や所得補償など農家が営農に励める基盤を整えることや、新規就農者支援、学校給食での地消、中山間地域等直接支払制度の拡充などが必要である。更に市場任せではなく、政府が安定供給に責任を持ち、ゆとりある需給見通しを立て、生産と備蓄を拡大することも重要である。

よって、国においては、食糧と農業制度を改善し、生産者と消費者の双方を守るため、下記事項の実現を強く求める。

記

1. フードバンクや子ども食堂などに行っている政府備蓄米の無償提供を拡大することや状況を見据えながら市場への放出を実施するなど、食糧不足への不安を解消すること。
2. 新たに生産者、消費者の双方を支える食糧制度へ改善すること。
3. 農家が安心して米を生産し、国民に安定供給できる政策に転換すること。
4. 米を増産し、不測の事態に備えた十分な量を備蓄すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和7年6月20日

和歌山県日高川町議会

【提出先】衆議院議長 殿 参議院議長 殿 内閣総理大臣 殿
農林水産大臣 殿 経済産業大臣 殿



伊奈議員に和歌山県町村議会議長会 自治功労者表彰

和歌山県町村議会議長会定期総会において、伊奈禎胤議長が和歌山県町村議会議長会自治功労者表彰を受賞されました。

この表彰は、議会議員として11年以上在職し、地域の振興発展と住民福祉の向上に努められた功績が高く評価されたものです。



町杯ゲートボール大会

議会からも2チーム出場しました。健闘するも「議会Bチーム」は第5位、「議会Aチーム」は第7位（ブービー）という結果でした。



東 西 南 北

今年の近畿地方の梅雨明けは過去最も早く、今から農作物の水不足が、とても心配です。もともと世界を見渡せばロシアによるウクライナ侵略の帰趨、イスラエルによるガザ侵攻とイランを巡る紛争、日米関税交渉の行方、などなど不安の種は尽きません。

とりあえず7月5日は何事もなく過ぎゆき、流言飛語の不安は一つ消えましたが、私たちの不安が一つでも多く消え去り、平和で豊かな暮らしが持続的に送れるよう願うばかりです。

長い夏がまだまだ続きますが、皆様におかれましては健康に留意されご自愛されますよう、暑中お見舞い申し上げます。

(山本啓司)

